

序 章

マスタープランの概要

序章 マスタープランの概要

1

マスタープランの背景と目的

本市は、平成 22 年 3 月に久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町の合併により誕生しました。

久喜市都市計画マスタープラン（以下、「マスタープラン」という。）は、新市合併の効果を都市づくりに展開すべく、まちづくりの主役である市民の参加を基本として策定します。

このマスタープランは、各地区においてこれまで取り組んできた都市づくりを継承しつつ、新市建設の一体的な枠組みにおいて取り組むべき新たな将来像と都市づくりの基本的な方針（全体構想）及び地区まちづくりの基本的な方針（地区別構想）を定め、平成 44 年度（西暦 2032 年）までの今後 20 年間にわたる各種都市計画事業並びにまちづくり関連施策の指針とするものです。

（新市基本計画について）

新市基本計画は、新久喜市の均衡ある発展を図るため、住民意向調査やまちづくり懇話会の提言などを踏まえて、久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷺宮町合併協議会において策定されました。

このマスタープランは、新市基本計画を参考に、これまでのまちづくりの経緯を踏まえつつ、各市町が作成した計画のバランスをとりながら都市づくりの基本方針を定めました。

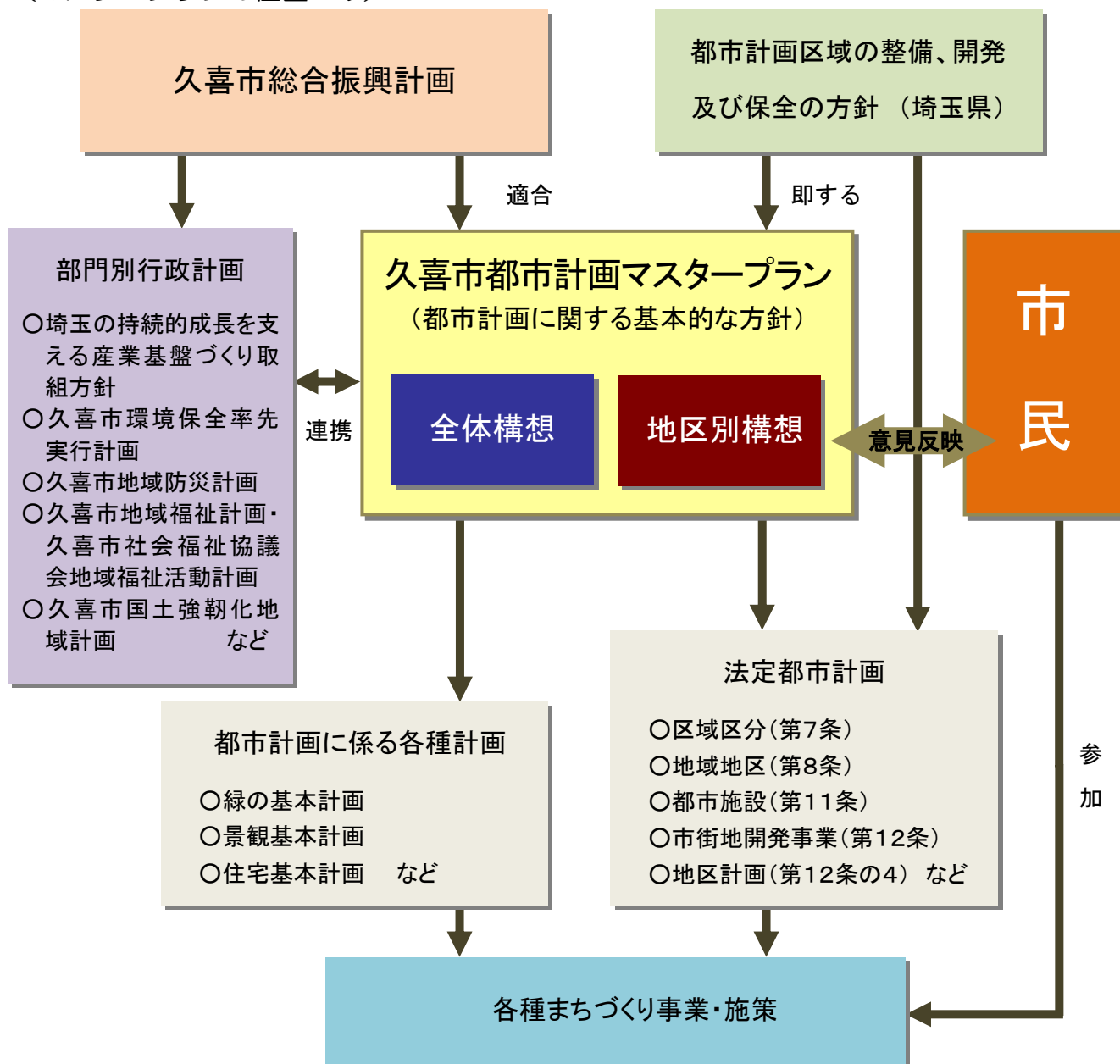
2

マスタープランの位置づけ

都市計画マスタープランとは、都市計画法第18条の2の規定に従って定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことです。すなわち、将来目指すべき都市の姿を展望し、それを実現するための土地利用や都市施設の位置づけと配置等の総合的な指針となるものであり、各種の都市計画は、このマスタープランに即して定めるものとなります。

また、マスタープランは市民参加を掘りどころとして定めるものであり、計画の策定過程において市民の意見を反映することとされています。このため、計画に定められた方針を実現するために必要な各種まちづくり事業・施策の推進にあたっては、市民の理解と協力のもとで進めていくことが期待されます。

(マスタープランの位置づけ)



3

市民がつくるマスタープラン

マスタープランの策定にあたっては、「久喜市都市計画マスタープラン策定委員会」を設置し、マスタープランの全体構想に関わる提言のほか、部門別に分かれての共同作業によるSWOT分析（「第1章／1.3 SWOT分析による課題」参照）や、東京理科大学学生との意見交換を踏まえた全体構想の検討などを行いました。

また、マスタープランの地区別構想については、地区別構想を構成する4地区（久喜・菖蒲・栗橋・鷺宮）別に「まちづくりワークショップ」を開催し、市民の皆さんによる地区別まちづくり提言を取りまとめました。

（市民提言をマスタープランに反映する仕組み）

市民参加

- 市民の提言を都市づくりの計画に反映する
- 4地区が一体となった都市づくりの将来構想を確立する
- 市民と行政による協働のまちづくりを目指す

都市づくりの提言 （策定委員会の役割）

1. 将来都市像の提言
2. 分野別の提言
（①土地利用、②道路・交通
③公園・緑地、④都市防災ほか）



〔提言をもとに構想をまとめます〕

地区別まちづくりの提言 （ワークショップの役割）

1. 現状と課題の整理
2. まちづくりテーマの設定
3. 地区別まちづくりの提言



〔提言をもとに構想をまとめます〕

提案

報告

【久喜市都市計画マスタープラン】

全体構想

- ◆将来の都市像
- ◆都市づくりの基本方針

反映

整合

地区別構想 （久喜・菖蒲・栗橋・鷺宮）

- ◆まちづくりの目標
- ◆地区整備の方針